

令和8年度 学校関係者評価委員会 議事録

開催日時：令和8年5月22日（金） 17：00～

開催場所：柔整棟3階 会議室

評議委員長：水上 弘祥 （北海道鍼灸柔整マッサージ師会 会長）

評議委員：吉田 真人 （鍼灸整骨院壮院麻生）

自校教員：岩倉 淳 （札幌青葉鍼灸柔整専門学校 校長）
長谷川 源 （札幌青葉鍼灸柔整専門学校 教務部長・鍼灸学科長）
八重樫 正 （札幌青葉鍼灸柔整専門学校 柔道整復学科長）
工藤 久美子（札幌青葉鍼灸柔整専門学校 柔道整復学科教員）＊書記役
上尾 慎 （札幌青葉鍼灸柔整専門学校 鍼灸学科教員） ＊書記役
有岡 留那 （札幌青葉鍼灸柔整専門学校 鍼灸学科教員助手）＊書記役

◆司会進行：校長

<議題>

1. 令和7年度 学校自己評価について

校長より、令和7年度学校自己評価について説明が行われた。

評価は4段階評価で実施され、各項目について学校運営状況および課題について報告があった。

2. 教育理念・目標について

学校理念・教育目標について、ホームページ、学校案内、SNS等を通じ周知している旨の説明があった。

委員より、「職業教育の特色」が外部に伝わりにくいとの意見があり、今後は本校の特徴である「臨床力重視」「教員との距離の近さ」などをより明確に打ち出す必要性が確認された。

3. 学校運営について

学内システムによる業務効率化について説明があった。

グループウェアを活用し、決裁・回覧・勤怠管理等を電子化している一方、教務システムについては改善の余地があるとの報告があった。

また、大学等で導入されている統合型学務システムについても情報共有がなされた。

4. 教育活動について

カリキュラムは法令に基づき適切に編成されていることが報告された。

特に実技・実習時間については、他校と比較して多く確保していることが説明された。

また、以下の事項について意見交換が行われた。

- 国家試験対策と臨床教育のバランス
- 外部実習・臨地実習の充実
- スポーツ現場等でのトレーナー活動への参加
- 産学連携授業の体系化

産学連携として、以下の企業・外部講師による授業実施が報告された。

【鍼灸学科】

- 医療接遇講義
- 美容鍼灸関連講義
- 漢方関連講義

【柔道整復学科】

- 物理療法講義
- パーソナルトレーニング実技
- 介護・機能訓練関連講義

委員からは、「産学連携を年間計画として整理してはどうか」との提案があった。

5. 学修成果について

(1) 就職状況

就職支援体制について説明が行われた。

個別面談を中心に、学生の希望に応じた就職支援を実施していることが報告された。

また、近年は給与条件を重視する学生が増加していること、道外企業による求人増加など、就職環境の変化について意見交換が行われた。

(2) 国家試験合格率

【鍼灸学科】

はり師・きゅう師ともに新卒25名受験、22名合格、合格率88%。

全国平均を上回る結果であった。

【柔道整復学科】

新卒32名受験、26名合格、合格率81.3%。

道内では最上位であったものの、全国平均を下回る結果となった。

今後は指導体制の見直しを含め、改善を図る方針が確認された。

(3) 退学率について

近年は1年次から2年次進級時の退学者が増加傾向にあることが報告された。

背景として、学力面に加え、メンタル面や集団適応に課題を抱える学生の増加が挙げられた。

6. 学生支援について

以下の内容について報告が行われた。

- 進路・就職支援
- 学生相談体制
- 奨学金制度
- 健康管理体制
- 保証人との連携

また、卒業生との連携強化についても継続課題として確認された。

7. 教育環境について

施設・設備は基準を満たしていることが報告された。

一方で、臨地実習については、学生管理や教育方針との兼ね合いから十分に実施できていない現状が説明された。

8. 学生募集について

学生募集状況について報告が行われた。

令和8年度入学生は、

- ・鍼灸学科 27名
- ・柔道整復学科 31名

であり、柔道整復学科において定員充足率の低下が課題として共有された。

今後の対応として、

- ・高校訪問強化
- ・卒業生との連携強化
- ・社会人向け教育の検討
- ・オンデマンド授業導入可能性の調査

等について意見交換が行われた。

また、卒業生ネットワークの活性化や懇親会開催等の提案もあった。

9. 法令遵守について

法令遵守および情報公開について、適切に対応している旨の報告があった。

10. 社会貢献・地域貢献について

地域との連携強化について意見交換が行われた。

- 地域活動への学生参加
- 公開講座の開催
- 地域団体との連携

等について、今後積極的に取り組む方針が確認された。

<閉 会>

以上をもって、令和8年度学校関係者評価委員会を終了した。